

図書紹介

木育のすすめ

山下晃功 原知子 共著
海青社 / 定価1,380円(税込)

木育と書いて「もくいく」と読む。食育は聞き覚えのある言葉だが、木育に関しては初めて聞く人も多いことだろう。実は、木育とは豊かな森林資源を守り、国産材の普及のための教育活動として林野庁が2007年から提唱してスタートした事業である。そして、木材を生かした健全な人間形成をめざす教育活動のことである。

その木育の理念や、活動を広めていこうと、初めて執筆されたのが本書である。

二人の筆者は、大学の教員養成学部出身の木育第一人者の老練なる教授と、社会教育施設の創作工房で木工指導にあたりながら、木のサイエンスショーなども企画する新進気鋭の女性木育コンシェルジュのコンビである。

さて、本書の目次を拾ってみると、従来の木材利用普及の問題点と国民運動としての木育のスタート。木育が必要な社会的背景。義務教育と木育。高校・大学・生涯教育における木育。木育に期待される学習効果と木育の今後の方向性などが、順を追って述べてある。韓国での幼児教育の木工活動なども紹介されている。

特筆すべきは、後半の木育学習プログラム開発である。国民運動

である「木育」の今後の展開のために、筆者らのこれまで培ってきた豊富な経験と研究に裏打ちされた、活動実践事例のエッセンスがここに凝縮されている。木の名前のビンゴゲームなど、すぐに授業の教材として使えそうなものも紹介されている。

ところで、義務教育で木育推進の要となる存在は、何と言っても技術・家庭科でものづくりを指導する教師である。これまでの単なる「木を使ったものづくり」から、なぜ木が良いのか、木を使うことで地球環境にどう影響するのか、木を使ったものづくり活動が人間発達上なぜ有益なのか、それらを本書は具体的に明らかにしている。そうした意味で、「木育のすすめ」は本教科の先生方の必読書である。

長澤 郁夫

(島根大学教育学部 准教授)

全国研究大会情報(平成20年度)

※本大会のご案内は4月現在のものにつき、その後変更になる場合もございます。

第45回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 大阪市大会

第38回 近畿小学校家庭科教育研究会 大阪市大会

1. 期 日 平成20年10月31日(金) [公開授業・分科会・全体会]
2. 会 場 【全体会】大阪市中央公会堂
【分科会】〈第1会場〉大阪市立鷺洲小学校 〈第2会場〉大阪市立豊仁小学校
〈第3会場〉大阪市立淡路小学校
3. 研究主題 新しい時代を切り拓く豊かな心と実践力を育てる家庭科教育

第47回 全日本中学校技術・家庭科研究大会

第47回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 長野大会

1. 期 日 平成20年10月23日(木) [全体会・記念講演], 24日(金) [公開授業・分科会]
2. 会 場 【全体会】長野市若里市民文化ホール
【分科会】〈第1分科会〉信州大学附属長野中学校 〈第2分科会〉長野市立犀陵中学校
〈第3分科会〉中野市立中野平中学校 〈第4分科会〉長野市立篠ノ井西中学校
〈第5分科会〉長野市立豊野中学校 〈第6分科会〉長野市立広徳中学校
〈第7分科会〉須坂市立相森中学校 〈第8分科会〉長野市立川中島中学校
〈第9分科会〉長野市立東部中学校
3. 研究主題 一人一人が自ら拓く技術・家庭科の学習